

# 2005 豊かなウォーターフロント フォトコンテスト

本コンテストは、海・海辺の四季折々、津々浦々の姿を、写真を通じて表現して頂き、ともすれば日常、海や海辺と疎遠になりがちな方々に対して「海・海辺」の素晴らしさを再認識して頂くとともに、ウォーターフロントの景観に対する意識を啓発することを目的としています。

ウォーターフロントフォトコンテストも14回目となり、今回は港や海辺の人々とのかかわり、そして港や海辺における自然と風景をテーマにした写真の募集を行いましたところ、548点の様々な作品の応募があり、平成17年10月18日、日本港湾協会会議室において厳正なる審査を行い以下の通り入選作品が決定されました。

## 【テーマ】

### 「みなと・海辺の人々、自然」

マリーナや海岸等で憩う人々  
みなとや海辺のイベントに集う人々  
港湾での活力ある物流活動  
人と海がふれあう海岸  
美しい魅力のあるみなとや海辺の景観  
押し寄せる高波など自然の脅威  
安全で親しまれる海岸  
みなとにおける干潟や海辺の生物  
などの自然環境  
やわらかな感性をはぐくむ水辺  
ゴミ、放置艇等のみなと周辺の  
社会的な問題 等

## 【主催】

社団法人 日本港湾協会、港湾海岸防災協議会

## 【後援】

国土交通省

## 【協賛】

コニカミノルタフォトイメージング株式会社

社団法人 日本旅客船協会

社団法人 ウォーターフロント開発協会

社団法人 日本外航客船協会

社団法人 日本マリーナ・ビーチ協会

財団法人 港湾空間高度化環境研究センター

財団法人 港湾空港建設技術サービスセンター

## 【審査会場】

(社)日本港湾協会 会議室

## 【審査日】

平成17年10月18日

## 【審査員】

(順不同・敬称略)

齋藤 潮(東京工業大学教授)

富岡 畦草(写真家)

松野 正雄(写真家)

廻 洋子(淑徳大学客員教授)

森川 雅行(国土交通省港湾局環境整備計画室長)

内村 重昭(国土交通省港湾局海岸・防災課長)

栢原 英郎(社団法人日本港湾協会理事長)

## 【入賞作品】

### 国土交通大臣賞

「作業は続く」

柳川 健治(横浜港)

### 港湾局長賞

「作業終了」

平形 晃(大阪港)

### 日本港湾協会会長賞

「光のページェント」

嵐田 尚吉(東京港)

### 港湾海岸防災協議会長賞

「放水合戦」

水呉 みのる(岡山県日生海岸)

### 北海道開発局長賞

「YOSAKOIの夜」

柴田 隆司(北海道函館港)

### 東北地方整備局長賞

「冬の番屋」

鈴木 治蔵(秋田県峰浜村)

### 関東地方整備局長賞

「人命救助訓練」

本橋 省吾(東京港)

### 北陸地方整備局長賞

「活動するコンテナ埠頭」

佐藤 芳恵(新潟県新潟港)

### 中部地方整備局長賞

「満艦飾」

横山 宣明(静岡県沼津市内浦漁港)

### 近畿地方整備局長賞

「陸上げのとき」

坪倉 義英(京都府舞鶴湾)

### 中国地方整備局長賞

「海上出初式」

山崎 秀司(岡山県日生海岸)

### 四国地方整備局長賞

「ダイビング」

石角 尚義(高知県柏島漁港)

### 九州地方整備局長賞

「海辺のパン喰い競争」

江島 美喜男(佐賀県唐津市虹の松原)

### 沖縄総合事務局賞

「楽園」

仲村 千佳子(沖縄県コマカ島)

### 佳作(40点)

青木 光好(釧路西港)

金子 彰廣(宇登呂港)

柳堀 利和(釧路港)

藤原 奨(仙台港)

平馬 ひとみ(福島県いわき市薄磯海岸)

柳本 博史(いわき市塩屋崎)

武田 敏久(岩手県野田村十府ヶ浦海岸)

田中 和夫(横浜港)

福井 広明(横浜港)

ケン・ヤマシタ(東京都小笠原村二見港)

曾根 満治(東京港)

斉藤 清(横浜港)

滝上 正行(富山県新湊市海王丸パーク)

川崎 米子(新潟県糸魚川市親不知)

倉前 靖弘(富山港)

土田 和彦(新潟西港)

宮本 建一(石川県輪島市曾々木海岸)

砥綿 智恵子(富山県朝日町)

後藤 守忠(名古屋港)

山梨 勲(静岡県清水港)

飯田 忠雄(静岡県清水区三保真崎)

望月 良男(静岡県清水港)

稲垣 みゆき(名古屋港)

望月 信明(静岡県清水区三保)

日比野 義孝(三重県志摩市米子浜)

西村 恒弥(三重県鳥羽市国崎海岸)

木下 正治(兵庫県神戸市舞子浜)

加藤 昭七(和歌山県熊野枯木灘海岸)

杉江 輝美(兵庫県明石市林崎松江海岸)

小方 一男(山口県下関市角島)

坂本 登(愛媛県愛南町深浦港)

松本 研一(香川県坂出市与島)

美藤 明(香川県三豊郡栗島港)

伊藤 忠(熊本県河浦町崎津)

浦 孝行(長崎県長崎港)

仲野 哲雄(大分県佐賀関町白木浜)

大城 光雄(沖縄県恩納村真栄田ビーチ)

知名 慶昌(沖縄県恩納村万座毛沖合)

諸見里 光(沖縄県本部町出納島)

仲程 利枝子(沖縄県恩納村真栄田岬)



## 総評

今年も沢山の労作力作を応募いただきありがとうございました。審査員一同感激のうちに慎重審査、結果をここに報告します。

ご存じのとおり海国日本の物資は99.7パーセント以上、ほとんど全部を海運によってまかっています。まして食糧自給率30パーセントの現状では、輸入に頼って生きていると言っても、過言ではありません。

当然、重要な海運には、基地となる港湾の整

備が先決問題です。しかし海なる自然は、時に暴威を振るいます。これに敢然と立ち向かい、安全を確保している人たちの努力に対しても感謝せずにはられません。

どうぞ海と私たちのかかわりに目を配り、多様な感動のシーンを写真にしてください。そして応募の際は、趣旨をよく理解して、せっかくの作品が、失格とならないよう気を付けてください。

(文責・富岡畦草)



### 国土交通大臣賞

「作業は続く」  
(横浜港)  
柳川 健治

夜を徹して進められる港の荷役作業、すべてが巨大で遅く、港の存在感をずしりと感じさせます。頼もしい活動ぶりを、優れた写真技術で表現し、多くの票を得て最高賞に輝きました。



国土交通省港湾局長賞

「作業終了」

(大阪港)

平形 晃

近代設備の港湾も、出入する新鋭巨船も、浚渫という地味な努力があっても、安心して活動できます。大阪港のにぎわいにも目を向けながら、そこを強調された作者の認識が高く評価されました。



日本港湾協会会長賞

「光のページェント」

(東京港)

嵐田 尚吉

長い年月をかけて整備された東京港周辺。世界に誇れる港湾風景が完成したと思います。特に夕暮れどきの光景は、贅を尽くした美の極致です。その景観を適切な位置から、優れた技術で、見事に表現されました。